

「障害」と「健常」、境界を問う

— 映画『記憶との対話』をめぐって— ～マイノリティ・トラベル、10年目の検証～

2017年1月9日(月・祝) 13:00-17:00 東京大学駒場 | キャンパス 21 KOMCEE West K303

どこからどこまでが『障害』で、どこからどこまでが『健常』なのか。
その境界線は、誰が引いているのか——

2006年に東京で行われた伝説的パフォーマンスを、
「障害者アート」が活況を呈する2017年現在から振り返り、対話する。



レクチャー：長津結一郎（九州大学大学院芸術工学研究院コミュニケーションデザイン科学部門助教）

ゲスト：縦山智子（作曲家、マイノリティ・トラベル主宰）

佐々木誠（映画『記憶との対話～マイノリティ・トラベル、10年目の検証～』監督）

羊屋白玉（演出家、劇作家、俳優、「指輪ホテル」芸術監督）

対話ファシリテーター・企画協力：水谷みつる（UTCP 研究協力者）

定員：35名（要事前登録） 入場無料

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属 共生のための国際哲学研究センター（UTCP）上廣共生哲学寄付研究部門 L2
「共生のための障害の哲学」 協力：マイノリティ・トラベル・クロニクル実行委員会